

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号
(タウンコート常磐町 1F)

TEL. 054-252-2418

FAX. 054-252-2430

発行人 松浦 源

第五十五回 通常総代会の開催



令和元年度の第五十五回通常総代会は、五月二十三日(木)静岡市内のターポール会館において開催された。総代会には、代議員、役員、支部長、青年部員並びに来賓等、八十一名の出席のもと、十三時に鈴木副理事長の開会の辞に始まり、熱心かつ真剣な審議がなされた。

の経済情勢に対処してゆく必要があると痛感いたしておりますと述べ、そのためには技能の更なる研鑽に努め、更には、仕事を取得するための積極的な営業活動や経営の在り方の再検討を行うなど、新たな意識の行動が求められるとの見解を述べた。また、我々の喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があり、今後の組合組織や、この業界を担っていく青年層に対して、今まで以上に親組合としての連携、支援を強化していく必要があること、などを出席者に訴えた。

(三十年度事業報告)については、北村副理事長が説明、(青年部事業)については戸塚青年部長、続いて第二号議案(三十年度会計決算関係)は、伏見主任会計、早川会計理事及び酒井会計理事から説明がされ、また、青年部会計から説明がされた後、段原監事から監査報告がなされ承認された。



次に第三号議案(令和元年度事業計画案)については、松浦理事長が説明し、第四号議案(令和元年度予算案)については、伏見主任会計が説明して承認された。次に第五号議案(借入金最高限度額及び取引金融機関の決定)を松浦理事長が説明し、承認された。

総代会終了後に理事会を招集し役員を選任について推薦案を作成し、理事会に諮った結果、それぞれの役割は出席理事全員から了承された。全ての議事終了後、来賓からご祝辞を頂いた。最初に、衆議院議員塩谷立先生のメッセージを続いて中小企業団体中央会から、最後に協力店会を代表して(株)植松グループホールディングスの皆様からご祝辞を頂いた。この後、懇親会が開催され来賓の協力店等の皆さんを交え、昨今の経済情勢や業界情報が熱心に語られていた。

一杯のピリアル活動を始めてまいりました。高知大会終了と共に、よい本格的な準備活動が始まってまいります。また、全板連の大会準備も、静岡大会一点に集中されてまいりますので、本組合もこれにこたえて、全組合員で精一杯の準備を行うこととしております。

 **日新製鋼**
 **日鉄住金鋼板株式会社**
株式会社 釜慶マクサプライ
 〒435-0041 静岡県浜松市東区北島町757
 TEL 053-423-0007
 FAX 053-423-0010

表彰状等の授与

通常総代会において、静岡県板金工業組合の役員として引き続き六年以上組合発展のため取り組まれ退任された青木進（前常任理事）及び多年にわたり事業活動に熱心に取組まれ、組合発展に尽力された九名の皆さんに、松浦理事長から表彰状と記念品が授与された。表彰式終了後、三島支部の米元孝一さんから受賞者を代表して謝辞があった。

退任役員表彰

青木 進（常任理事）
（敬称略）



県板功労表彰

三島支部 米元 孝一
富士支部 五十嵐伸大
清水支部 池ヶ谷 浩
清水支部 平岡 浩
焼津支部 堀 健次
焼津支部 青野 竹伸
榛南支部 杉山 学
榛南支部 名波 康浩
北榛支部 原田 良一
（敬称略）

県板団体保険感謝状

多年にわたり団体保険に加入いただき、組合の共済事業への協力に感謝

し、次の二名の皆さんに松浦理事長から感謝状と記念品が授与された。
小笠支部 小林 光雄
小笠支部 久保 章
（敬称略）



全板高知大会 九十六名参加

県板事務局



第七十一回全国建築板金業者大会が、五月十六日（木）高知県高知市の「くろしおアリーナ」で開催され、全国から約二千六百名余の同業者が参加し、本県からは事務局局長を含め九十六名が参加した。

大会では、平成から令和へと年号が変わり、新しい時代が幕を開けた。建築板金業界が誇り高き職業として未来永劫に引き継がれていくために、この令和元年に力強く掲げて次の諸事業を推進

していくとして「登録基幹技能者のさらなる地位向上と適切な評価を獲得する」「次世代のさらなる飛躍のために後継者の育成強化を図る」「非組合員の加入促進と組合員の社会保険加入を徹底する」「責任施工保証制度で業界の信頼度をさらに向上させる」「指定商品に積極的に活用する」「全板国保・公的年金基金で福利厚生を充実させる」などが大会宣言として、力強く宣言された。

また、本県は次期開催県として七メートル半の横断幕と二十本ののぼり旗を先頭に理事長と三十名の組合員が「くろしおアリーナ」において静岡大会のビジュアル活動を積極的に展開した。



表彰式では、本県から榛南支部の名波康浩氏と浜松支部の岩崎則幸氏が功労章を受賞された。

全板高知大会に参加して

副理事長 北村 弘

今年の第七十一回全国建築板金業者大会は四国の高知県で行われました。静岡からは九十六名の参加でした。朝早くから新幹線で、岡山まで行き

岡山より観光バスに乗り換えて高知まで行きました。長旅で、トイレ休憩などを取りながらの旅でした。

時間の遅れなどは多少ありましたが、名所見物などが有り、和気藹々と楽しめた。大会では静岡大会へ多くの皆さんをお迎えするため、理事長の挨拶や組合員三十名がステージの前に並んで、横断幕やのぼり旗などをかざしてPR活動を行いました。

大会前日のリハ・サルの際、皆さんから意見を聞き大会当日のPR活動に臨んだ結果、計画通りに成功したと思っております。

大会当日は忙しい中、高知県板の理事長及び副理事長から静岡大会の参考とすべく様々な意見や課題などをお聞きしてまいりました。その中で、「全板連の対応が遅いので、苦労した。」との話があり、このことが一番印象に残りました。榛南支部では参加者全員が担当を決めて情報収集を行っていました。感謝しております。

今大会は土産物ブースなどの見学、高知県への質問などで、機械や材料の展示はあまり時間が取れませんでした。夜は、参加者全員で懇親会を行い、にぎやかで楽しい一時を過ごさせていただきました。

皆さんから頂いた景品等が沢山ありましたので、皆様に十分お配りできたと思います。

翌日、別子銅山に行き、トロッコに積める四トン以上の銅がどれほどの銅が取れるかとの質問には誰も答えてくれませんでした。が「ものづくりマイスター」として知りたかった部分でもあり少し残念でした。

高知での、カツオのたたき、高松でのソフトクリームのおいしさが、大変印象的でした。今回の高知大会を参考にして全板静岡大会が大成功いたしますよう皆様のご協力をお願いして高知大会の感想とさせていただきます。

技能検定実技試験講習会

県板事務局

令和元年度技能検定実技試験に向けて、実技講習会が、六月一日（上）、六月二日（日）、の二日間ポリテクセンター静岡で開催された。



今年度の受講者は、一級十五名、二級二名の計十七名で、昨年より十名減少した。指導に当たった八名の技術検定委員及び補佐員

からは、受講者の真面目な態度、熱心さを求める声が多く聞かれ、指導の結果、緊張感溢れる講習会となった。

松下委員長からも、時間内に全員仕上げまで行かなかつたので、実技試験日まで追加講習会が必要との講評があり、今後、東・中・西の各地区で追加講習会を行う必要性が確認された。これを受けて、各地区委員は六月下旬までに臨時の実技講習会を開催した。



技術検定委員長は、七月二十三日の実技試験本番には、全員が努力の成果を遺憾なく発揮して、良い結果が得られることを期待するとコメントした。

なお、職能協が主催する技能検定実技試験は、予定通り七月二十三日（火）に実施され十九名弱が受験した。

今後は、八月二十一（水）、二十二日（木）に静岡労働会館において学科講習会を開催する予定である。

技能競技大会の開催

技術検定委員長 松下隆満

今年度の技能競技大会は九月二十九日（日）に

ポリテクセンター静岡で開催する予定です。課題作品については、Aコースは「ちりとり」で昨年と同じだが、Bコースは、「トロフィー」

（今年度の大会の課題）で実施されることとなりました。

競技大会参加者を対象にした事前講習会は、八月二十五日（日）にポリテクセンター静岡で開催する予定です。

最優秀者は県知事等から表彰され、またBコース優秀者二名以内は、令和二年二月下旬に富士宮市で開催される全国大会へ出場する権利を得ることとなります。

技術検定委員会では現在、八月月上旬を期限として参加者を募集しているが、参加者の年齢制限は廃止されているので組合員、後継者及び従業員等多数が参加し技能を競うことが業界全体のレベルアップに繋がると期待しています。

今年のBコースの「トロフィー」は展開図等詳細図面について、技術検定委員が主体となつて、調査、検討を重ねているが、完成した折、関係者に配布する予定です。

小・中学生のGymnastics 体験学習指導

県板事務局

静岡県職業能力開発協会は、厚生労働省認定の「ものづくりマイスター」派遣事業として、県下東部・中・西部地区の小・

中学生生等の児童生徒に
対するものづくり体験学
習（魅力講座含む）を
実施しています。
今年度は昨年度より少
しスタートが遅くいまだ
に四箇所となつていま
が最終的には前年度規模
（十三箇所）に近づく模
様です。
体験学習を実施する全
箇所で先生方に「ものづ
くり作業」を説明するた
めの「魅力講座」を加え
ると、今年度は、八回の
講座や体験学習を実施す
ることとなります。



この事業は、各技能士
会に所属するものづくり
マイスターに対して、依
頼されるもので、各技能
士会では、マイスターの
皆さんにお願いし、限ら
れた人員の中で本業と、
この派遣事業を大変な努
力と犠牲を払って実施し
ているのが実情です。
この他にも、九月下旬
に「ツインメッセ静岡」
で行われる「県主催のも
のづくりフェスタ」や各
訓練校の技能祭、各地区
のものづくりイベントへ
の参加等めまぐるしく出
展、指導の機会が連続的
に展開されていきます。

元より美しい輝きを放
つ銅板細工は人気があり
児童・生徒からの要望も
多く寄せられているよう
です。
しかし、現員のマイス
ター二十三名では、今後
西部地区及び伊豆地区に
まで拡大していくと見込
まれる体験学習の实情に
対応するのは難しく、昨
年度、実施個所の多くを
占める中部地区及び東部
地区に二名のマイスター
を認定登録していただき
ましたが、西部地区に、
なお数名のマイスターを
新たに認定登録しようと
しています。

職能協では、昨年度あ
たりから、ものづくりマ
イスターの派遣事業が本
格化しており、今年度は
全県規模で事業展開を図
っていく計画が有るよう
です。
組合ではものづくりマ
イスターの地域バランス
を考慮しながら九月頃か
ら認定申請を進め、充分
な体制をもって対処して
いくこととしております
が、マイスターの方以外
の各支部の皆さんにも補
助指導員としてのご参加
をお願いする機会が有る
かと思しますので、その
節はご協力のほどよろし
くお願い申し上げます。

WAZAZAチャレンジ 教室に参加して

島田市立第一中学校
北橋支部長 湯脇厚志
令和元年五月十四日（火）
午後一時からWAZAZAチ
ャレンジ教室が島田市立

第一中学校で開催されま
した。
元気のいい挨拶の出席
えを受け、二年生の男子
二十一名、女子四名の計
二十五名に対して北橋支
部の七名全員で銅板ヘラ
だしの指導に当たりまし
た。



今年の課題は「ツバキ」
で、細かな作業に手が疲
れるよーの声が上がりま
したが、さすがが中学生で
す。
時間内には全員が完成
していました。
生徒たちはお互いの作
品を見せ合い、歓声を上
げて喜んでいました。
私たちの支部も過去に
何回か指導をしておりま
すが、この時が疲れも吹
き飛ばす一番うれしい瞬間
です。

ものづくり体験を通し
て建築板金業の仕事を知
ってもらえる機会になっ
てくれたら良いと思いま
す。
ご参加いただいたみな
さんお疲れ様でした。
磐田市立南部中学校
中遠支部 山下領一
六月十一日（火）十三
時三十分より磐田市立南
部中学校の二年生を対象

にWAZAZAチャレンジ教
室が開催されました。
銅板ヘラだしには十五
名の生徒さんが参加して
くれました。
今年の課題は「ツバキ」
ということで、細い線も
多く、かなり難易度の高
いもので生徒さんのやる
気と集中力が心配でした
が、とても素直に一生懸
命取り組む生徒さんばか
り最後までしっかりと
やり遂げてくれました。



今回から支部での担当
が自分に代わり今迄通り
の内容で行うことができ
たとはいえますが、今ま
でとは違う「立場で参加
することによって今後の
課題が見つかったような
気がします。
銅板ヘラだしの参加人
員の増加や、建築板金へ
の理解や興味を持っても
らうにはどうすればいい
かなど、来年以降に向け
て、材料などを準備して
いきたいと思えます。
指導する立場とはいえど
も、こちらとしても貴重
な体験をさせて頂きまし
たので、今後の職人・人
材育成に役立ててけれ
ばと思いました。
ご参加いただいた皆様
お疲れ様でした。

湖西市立湖西中学校
浜松支部 伊藤保明
六月二十三日（火）十
三時からWAZAZAチヤレ
ンジ教室が開催されまし
た。
事前に銅板ヘラだしの
実物の作品を持って先生
との打ち合わせを行い、
当日は十六名の生徒さん
に対して、三名の技能士
が指導に当たりました。
最初に銅板ヘラ出しの
作業手順を説明し、今年
の課題である、「ツバキ」
の銅板ヘラ出しに取り組
みました。



生徒さんたちは皆一生
懸命に取り組み、出来上
がった作品を私たちが磨
き、クリアーを吹き付け
て仕上げました。
生徒さんたちのそれぞ
れの個性が出て立派な作
品が完成し見せ合って喜
んでいました。
今はヘラだしなどの仕
事はあまりありませんが、
先生や生徒さんたちにこ
のような仕事があるとい
うことを知っていただい
ただけでも大変良かった
と思います。
これからもものづくり
フェスタ等の行事で建築
板金業の仕事に興味を持

ついていただければ幸いと
思います。
参加いただいた皆様お
疲れ様でした。
清水支部
清水支部長 林 孝之
『盆総会』を開催
毎年夏の恒例でありま
す「清水支部・盆総会」
を、七月十五日（月）「ホ
テルクエスト清水」にて
盛大に開催しました。
来賓は衆議院議員望月
義男先生を初め、県議会
議員・市議会議員の先生
方及び協力店・各メーカ
ーの皆さん等、多数にご
参加いただきました。
県板金工業組合からは
松浦理事長、北村副理事

トピックス

西遠支部がボランティア活動を実施



西遠支部恒例のボランティア活動が、5月
26日に行われました。
今年度は、天竜川漁業協同組合主催の天竜川
河川敷清掃作業に10名で参加しました。
近年、海洋プラスチックごみの問題が大き
くクローズアップされて、ペットボトルやレ
ジ袋などが海洋を汚染し、人に害をもたらす
とされています。

環境美化への関心の高まりから参加企業も
年々増加しているようです。

ごみの量は予想よりも多く大変でしたが、
河川敷運動公園でスポーツや散歩をしている
方々から「貴方たちはどのような団体ですか」と
尋ねられ、板金組合ですと言うと「ご苦労

様です」とねぎらいの言葉が返ってきました。
両手いっぱいのごみと共に、清々しい汗をかいてきました。
このような地道な活動が西遠支部への信頼に繋がってくればと思っています。
参加していただいた皆様、ご苦労様でした。

長、杉山事務局長そして
今回は榛南支部から大久
保常任理事、久保榛南支
部長も参加していただき、
総勢五十名が集って大い
に親睦を深めました。
梅雨空のあいにくの雨
模様の天気でしたが、青
年部員の参加も増えて、
議員の先生方、協力店、
メーカー組合員同志の意
見交換などが活発に行わ
れ、とても活気が有り、
改めて来年の全板静岡大
会の成功に向け、清水支
部が一丸となって活動し
ていく思いを強く感じ、
楽しく有意義な盆総会だ
ったと思います。
ご出席していただいた
皆様には本当にありがと
うございました。

